

平成 28 年 12 月 9 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 香川県立高松桜井高等学校 八田 由美
2. 講師氏名: Dr. Petr VODICKA
3. 同行者氏名: _____
4. 実施日時: 平成 28 年 12 月 9 日 (金) 16:00~ 17:30
5. 参加生徒: 3 年生 3 人、 2 年生 2 人、 ___ 年生 ___ 人 (合計 5 人)
備考: 普通科、聴講希望の生徒
6. 講演題目: (英文) Atmospheric Aerosols - their role in nature and our environment

(和文) 大気エアロゾルー自然や私たちの環境の中での役割
7. 講演概要: 1 自己紹介、研究者を志したきっかけ、母国チェコについて(5分)
2 エアロゾルについての概要説明(10分)
3 PM2.5 や PM10 などのエアロゾル粒子の大きさについて
4 水蒸気の凝結核としてのエアロゾルと雲を作る演示実験
5 様々なエアロゾル粒子の環境における役割や私たちの生活との関わり
6 講師の研究内容と本講義と最先端の研究内容とのかかわりについて
7 質疑応答
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 70分 質疑応答時間 20分
 - (2) 講演方法
プロジェクター使用による講演、および演示実験
 - (3) 通訳
なし
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師からの abstract および glossary に解説を加えて希望者に事前配布しました
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項:

事前に講義内容を周知し、講師の方に送っていただいたabstractやglossaryを配布して聴講希望者を募ってプログラムを行いました。開催時期が生徒にとっての他の行事と重なってしまう日程となり、参加者が5名と少なくなってしまったところが反省点です。参加生徒は講師が準備くださったパワーポイントの文や写真、動画を参考にして講師の話を理解しようと熱心に聞いていました。英語で講義を受けるところのハードルは高いのですが、講師の方が専門用語についても写真で説明されたり、言い方を変えたり、簡単な演示実験を交えたりと工夫してくださったおかげで、参加生徒も熱心に聞いていました。理系の生徒は「研究者を目指すにはどうしたらよいのか?」といった質問も投げかけており、それに対しても真摯なアドバイスをいただけて大変参考になったようでした。